

第32号

みずき野町内会だより

<http://www.mizukino-chonakai.org/>
e-mail: mizukino200902@jcom.home.ne.jp

2020年8月25日(火)
発行人
守谷みずき野 5-3-4
みずき野町内会
会長 山下 勝博



みずき野集会所
TEL/FAX 0297-48-2971

2020年(令和2年)
7月18日(土)

みずき野ひろば

Open 13時



高齢化が進むみずき野地区に、2019年に結成したみずき野地区まちづくり協議会が主体となり、行政の協力を得ながら「誰もが気軽に集える憩いの場になってほしい」という思いを込めて命名したコミュニティーショップ『みずき野ひろば』が7月18日にオープンしました。付近にはスーパーがなく買い物が不便になった住民に気軽に立ち寄ってもらう店舗としてみずき野集会所の隣にあった

旧銀行支店の建物を活かし、まちづくり協議会のメンバーである「もりあぐ」の各店舗から市内の農産物や加工品、乳製品、肉類、コーヒーなど。またカスミはスマホ決済の無人店舗による菓子類を販売する店舗となりました。当日は朝から激しい雨となり、町内会役員の方たちはびしょびしょになりながらテントを張り、式典の準備にとりかかっていました。その甲斐あって13時からの式典は、不思議と雨も上がり会場には200名近くの住民が集まっていました。山下会長、松丸市長の挨拶とテープカットによりオープンとなりました。またNHK水戸支局・茨城新聞・毎日新聞の取材が入りました。新型コロナの感染を避けるためマスク着用、手の消毒、5名づつの入店を守っていたため、外では100名前後の長蛇の列ができていました。



オープンを盛り上げてくれた和太鼓「円」の皆さん

まつり会場の“顔”としてすっかり定着したシンボルトワー。新元号にちなんで名付けられた「令和1号」も大いに存在感を示していました。

『みずき野ひろば』の営業日
・月曜日から土曜日(祝日も営業)
日曜日のみ休業
・10時から18時

(広報委員)



店内の買い物の様子



後日、パラソル付きテーブル3脚設置

まちづくり協議会の構成団体のご紹介

会長 山下 勝博
事務局 泉 正男

守谷市の提案の下、令和元年8月29日、“みずき野地区まちづくり協議会”を設立いたしました。

みずき野地区まちづくり協議会は現在 18 団体の構成委員から成り立っております。

8月号では、「談話室花みずき」と「ポケットの会」をご紹介します。

18団体の構成委員			
1	みずき野町内会	10	防犯連絡員みずき野支部
2	NPO法人明日のみずき野を考える会	11	ティーふれ
3	ちよいサポ	12	談話室花みずき
4	地域敬老行事実行委員会	13	夏まつり実行委員会
5	子ども育成会	14	郷州里山の会
6	郷州小学校	15	みずき会
7	自主防衛隊	16	ポケットの会
8	社会福祉協議会みずき野支部	17	たんぼぼの会
9	学生プロジェクト	18	もりあく

談話室花みずき

談話室花みずきは町内会下部組織として、平成17年(2005年)に地域にお住まいの方々の交流の場、親睦の場の提供ということで発足いたしました。

郷州公民館にて毎月第三日曜日に講和やサークルの発表等のイベントを開催し、お茶・お茶菓子代としてお一人100円をいただいて運営しています。発表の合間には太極拳やぱたか等の参加型の取り組みも行われるようになりました。15年目を迎え通算でも134回を数えましたが、この4月からコロナ休暇中です。



(代表 高梨恭子)

ポケットの会

ポケットの会は、みずき野町内の環境美化の一環として第1・第2調整池周辺や中央公園、郷州公民館などにお花の植栽や整備をしています。今年は新型コロナウイルスの影響で活動自粛の中、お花たちの出番は少ないものの草花たちは元気です。

毎週水曜日に第1調整池付近を日曜日に第2調整池付近を9時から1時間をめどに活動しています。30分位でも時間を取れる方は、是非ご一緒に活動しませんか？いつでもお待ちしております。



(代表 原田節子)

今年はコロナ感染防止のために恒例の夏祭り行事も中止になったことから、町内の皆さんが見て楽しめるようにと、「七夕飾り」と「竹灯り」が企画され、7月4日(土)から19日(日)まで中央公園で昼夜を通して展示されました。

7月4日(土)午後5時には、みずき野集会所前で「竹灯り」イルミネーションの点灯式が行われました。

(広報委員)



ホタル観賞会

郷州里山の会 環境保護エリア

6月27日(土)夕刻、「ホタル観賞会」が開催されました。会場となった第2調整池の横にある「郷州里山の会環境保護エリア」には、お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんに連れられてたくさんの子供たちが集まりました。38組・110名の参加者がありました。昨年につき、人気のイベントになってきたようです。子供たちばかりでなく、「何年ぶりかにホタルの飛び交う姿を見て感激した！」と話す大人もおられました。大人気だったため、7月12日(日)にも同じイベントが開催されました。

(広報委員)





雨の中でしたが、親子で里山観察しました！



活動内容を説明するスタッフ

7月25日(土)午前6時から郷州里山の会主催・みずき野町内会共催による里山観察会が開催されました。早朝からの雨にもかかわらず39名(子供22名、大人17名)の参加がありました。年々、参加者も増えており人気の恒例イベントになってきました。開催スタッフ5名は、雨にぬれながらもカブトムシやクワガタの生態などについて真剣に解説をしていました。

スタッフから活動内容を説明後、2班に分かれて別々の林を捕獲探索しました。カブトムシを捕まえられなかった子供たちには事前に用意していたカブトムシが配られ、参加した子供たち全員がカブトムシやクワガタを手にすることができ喜んでいました。(広報委員)



2班に分かれて別々の林を捕獲探索



みんな笑顔で集合写真



お知らせ

令和2年度の守谷市支援地域敬老イベント“みずき野敬老のつどい”は、新型コロナウイルス感染防止策のため、中止になりました。

イベントは中止ですが、今年12月31日で満75歳以上の方々には記念品の配布を実施致します。申込方法など詳細は、全戸配布の「みずき野敬老のつどい中止のお知らせ」をご覧ください。

(みずき野地区まちづくり協議会)

編集後記

例年ならば夏まつり特集号のはずでしたが新型コロナで中止に。子供たちが楽しみにしていた夏まつりはなくなりました。みずき野の皆さんの命を守るため仕方ないことだと思います。そんな中で「みずき野ひろば」のオープンが明るいニュースでした。また町内会行事も比較的にリスクの少ない野外行事は感染防止に細心の注意をはらいながら着々と進められています。関係者の熱意と努力にはほんとうに頭が下がります。現在コロナは第二波と思われるほど新規感染が増えてきており気は抜けません。改めて感染予防の徹底を誓う今日この頃です。(広報委員 小林逸人)